

# 洗足学園音楽大学

## ブルー・タイ ウインド・アンサンブル演奏会

2022年7月5日(火) 18:30開演 (18:00開場)

洗足学園 前田ホール

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

【主催】 洗足学園音楽大学・大学院

# Greeting

今年度も無事にお客様の前で演奏が出来て嬉しいです。ご来場くださったお客さまにも感謝を申し上げます。

今回は指揮、鍵盤奏者、作曲家として大活躍中の鈴木優人先生をお迎えしてのコンサートとなります。鈴木先生お得意のバロック、バッハ。そして小出雅子さんの「玉虫ノスタルジア」、新垣隆さんの「ディベルティメントII」、メインにはストラヴィンスキーの「火の鳥」を演奏いたします。鈴木先生はブルー・タイの色々な面を引き出してくださると思います。最後までお楽しみください。

ブルー・タイ ウインド・アンサンブル企画運営責任者  
渡邊 功



# Program

## 水上の音楽 より「アラ・ホーンパイプ」

G.F.ヘンデル（鈴木 優人：編曲）

George Frideric Handel (1685-1759) // Arr. Masato Suzuki //  
Water Music: Suite No. 2 in D Major, HWV 349. I. Alla Hornpipe

## 玉虫ノスタルジア

小出 稚子

Noriko Koide (b.1982) // Tamamushi Nostalgia

## パッサカリアとフーガ ハ短調 BWV 582

J.S.バッハ（鈴木 優人：編曲）

Johann Sebastian Bach (1685-1750) // Arr. Masato Suzuki //  
Passacaglia and Fugue in C Minor, BWV 582

休憩

## ディヴェルティメントⅡ ～遙かなる希望への道～

新垣 隆

Takashi Niigaki (b.1970) //Divertimento II

## 組曲「火の鳥」(1919年版)

I.ストラヴィンスキー（R.アールズ：編曲）

Igor Stravinsky (1882-1971) // Arr. Randy Earles //  
The Firebird Suite (1919 version)

- 1.序奏 Introduction
- 2.火の鳥の踊り The Firebird and his Dance
- 3.王女たちの Rondé Ronde of the Princesses
- 4.魔王カスチェイの凶悪な踊り Infernal Dance of King Kashchei
- 5.子守唄 Lullaby
- 6.終曲 Finale

# Program Notes

## G.F.ヘンデル／水上の音楽 より 「アラ・ホーンパイプ」

ゲオルク・フリードリッヒ・ヘンデル(1685-1759)はドイツのハレに生まれる。幼少期から音楽に激しい興味を示すが、法律学を学ばせるつもりでいた父はヘンデルに対しいかなる楽器をさわることも、家の中に楽器を置くことも許さなかった。しかしそれすらもヘンデルの情熱を増大させ、屋根裏部屋に小さなクラヴィーコードを運び入れ、家族が就寝後いつも忍び込み練習していた。そして父親の思惑とは裏腹にヘンデルの才能は自由に羽ばたいた。ある日、礼拝堂でオルガンを弾いていたヘンデルは、ヴァイセンフェル公爵の目にとまり公爵から援助を受け勉強することができた。大学では父親の望み通りに法律の勉強をするが、その傍らオルガン奏者として活躍しオペラの作曲なども行なっていた。21歳の時にイタリアのフィレンツェへ留学し本格的に音楽の道へ進む。25歳の時には若くして人気の作曲家となり、ハノーファー選帝侯の宮廷楽長となったためイギリスへ渡りのちに帰化する。オペラやオラトリオ作品を多く手がけ、バロック時代を代表する作曲家として名を残した。

「水上の音楽」は1717年、国王ジョージ一世が船遊びをする際にテムズ川の上で演奏されたためこの名がついた。新全集によると三つの組曲から構成されていて、この曲は第2曲に属している。「アラ・ホーンパイプ (Alla Hornpipe)」とは「ホーンパイプ風に」という意味をもつ。ホーンパイプとは17世紀前後に生まれたイギリスのフォークダンス、およびそのための舞曲である。本作品は全体に明るく開放的な雰囲気特徴的で、演奏会の幕開けにふさわしい作品である。

クラリネット 4年 中田 紫乃

## 小出稚子／玉虫ノスタルジア

小出稚子(b.1982)は千葉県で生まれた。東京音楽大学、同大学院修了。2007年にオーケストラ作品「ケサランパサラン」で第17回芥川作曲賞を受賞。その後様々な賞を多く受賞している。また自作自演ユニット「鬼子母神不眠ガールズ」、アート・ユニット「すけべ人間」の各メンバー。彼女の楽曲は多彩な打楽器や特殊な奏法が多く採り入れられており、全体の音響に良いアクセントを加えている。

この曲は2010年に兵庫県の宍粟市立一宮北中学校吹奏楽部による委嘱作品として作曲され、第57回兵庫県吹奏楽コンクールの西播地区大会にて初演された。2011年にファゴット、その後バリトンサクスが加えられた改正版が作られた。楽曲内では彼女らしいユニークな奏法が取り入れられており、リコーダーの頭部管や金管楽器のマウスピースを手のひらでオープン、クローズする場面や、オルゴールを使用し、曲の雰囲気を作り出す場面がある。また、楽曲の様々な場面にブレストーンが使われており、それぞれのパートでタイミングや強弱が違う為、繊細で神秘的な音響になっている。

トロンボーン 3年 裏木 りりあ

# Program Notes

## J.S.バッハ／パッサカリアとフーガ ハ短調 BWV 582

ヨハン・セバスティアン・バッハ(1685-1750)はドイツのアイゼナハにて音楽一家に生まれた、バロック音楽の重要な作曲家の1人である。バッハは勉強熱心な性格で、あらゆる伝統の音楽を幅広く学んだ。そして、のちにシューマンやバルトーク等の後世にも大きな影響を与え、日本の音楽教育では「音楽の父」とも称されている。

この曲はオルガンのための作品で、パッサカリアとフーガの2部構成である。パッサカリアとはバロック時代の特有な変奏曲形式として知られるものであり、多くのは荘重な三拍子で、大抵の場合は4小節ないし8小節の短いメロディが幾度となくバスで繰り返されていき、徐々に別の旋律となって和声を重ねていく形式である。この曲においても8小節の主題を幾度となくバスで繰り返され、徐々に楽器が加わり、新しい和声が変わりながら終わりを迎える。フーガとは対位法による音楽書法または形式である。いくつかの独立したパートが同時に演奏をし、その中で決められたメロディを何度も折込ませているので、テーマが絶えず回っている事が逃げていく様に聴こえる事から、ラテン語で「逃げる」の意味を持つ“fugere”から名付けられている。フーガは主題に対して4度ないし5度で応答してゆくのが特徴的である。

トロンボーン 2年 佐藤 頼星

## 新垣 隆／ディヴェルティメントⅡ ～遙かなる希望への道～

新垣隆は1970年に東京都清瀬市で生まれた。桐朋学園大学で作曲を学び、現在では桐朋学園大学院大学音楽研究科にて特任教授、大阪音楽大学短期大学部にて客員教授を務める傍ら、作曲家やピアニストとしても活動し、バンド「ジェニーハイ」のメンバーでもある。

この曲は「コロナ禍の中、様々な形で頑張っている全国の吹奏楽部の方々にもお届けしたい」という思いから、TSP（東海大学附属高輪台高校吹奏楽部サポートプロジェクト）が新垣氏へ打診する形で2020年に作曲され、同年12月24日の高輪台高校吹奏楽部による初演から1年間無料で楽譜を公開、ダウンロード可能としていた。冒頭は高らかなトランペットのファンファーレから始まるが、テンポやリズム、拍子等がめまぐるしく変化し、度々現れる印象的なメロディーも途切れがちで、先が見えないまま曲が進んでいく。終盤まで何が起こるか全く予想がつかない展開も、この楽曲の一つの魅力である。同氏は2012年に、「ディヴェルティメントⅠ～祈り～」という作品を発表しており、「ディヴェルティメント」と冠する吹奏楽曲は2作品目である。「ディヴェルティメント」とは、18世紀中頃に誕生した器楽曲。語源はイタリア語の『divertire（楽しい、面白い、気晴らし）』であり、日本語で嬉遊曲（喜遊曲）という意味である。貴族の食卓や娯楽、社交の場で演奏される明るい曲調を示す。

打楽器 3年 山野 智広

# Program Notes

## I. ストラヴィンスキー／組曲「火の鳥」(1919年版)

イーゴリ・ストラヴィンスキー(1882-1971)はロシア生まれ。指揮者やピアニストとしても活躍していた20世紀を代表する作曲家である。

この曲はバレエ団『バレエ・リュス』の総合芸術プロデューサーであったセルゲイ・ディアギレフが、バレエ団の初めての創作バレエとしてディアギレフ自身の和声の師であるリャードフに依頼した作品だが、筆が遅く一向に曲が完成しない為、当時交響詩「花火」と「幻想的スケルツォ」を聴きその才能に目を付けていたストラヴィンスキーに代わりを依頼することになった。結果的に成功を収め、翌年1911年に「ペトルーシュカ」、1912年には「春の祭典」と続けて同バレエ団のために作曲をした。物語は二つのロシアの民話「イワン王子と火の鳥と灰色狼」と「不死身のカスチェイ」を組み合わせた話。イワン王子が火の鳥の助けを得て魔王カスチェイを倒し、美しい王女と結ばれる物語である。

【序奏】イワン王子が火の鳥を追いかけて魔王カスチェイの魔法の庭園に迷い込む。低音のゆったりと三連符で上下する動きが不気味な森をさまよう雰囲気醸し出す。

【火の鳥の踊り】魔法の庭園に現れた火の鳥のように木管楽器などが駆け回る。

【王女たちのロンド】王子と美しい王女たちが出会いその踊りの様子をオーボエが美しく奏でる。

【魔王カスチェイの凶悪な踊り】金管楽器の荒々しい響きによって緊張感のある禍々しい雰囲気が漂う。

【子守唄】踊り疲れた魔王たちを眠りに誘う火の鳥の子守唄をファゴットの旋律で独特な雰囲気を表している。

【終曲】力強い堂々とした旋律でドラマティックに輝かしく終曲する。

クラリネット 4年 長島 太一





1981年オランダ生まれ。東京藝術大学及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。令和2年度（第71回）芸術選奨文部科学大臣新人賞、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第18回ホテルオークラ音楽賞受賞。第29回(2021年度) 渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。2018年9月よりバッハ・コレギウム・ジャパン（BCJ）首席指揮者、2020年4月から読売日本交響楽団指揮者／クリエイティブ・パートナーに就任。音楽監督を務めるアンサンブル・ジェネシスでは、オリジナル楽器でバロックから現代音楽まで意欲的なプログラムを展開する。指揮者としてアンサンブル金沢、NHK交響楽団、九州交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、読売日本交響楽団等と共演。2017、2020年には鈴木優人プロデュース・BCJオペラシリーズを制作、上演。モンテヴェルディ：歌劇「ポッペアの戴冠」（2017）、ヘンデル：歌劇「リナルド」（2020）はバロック・オペラの新機軸として高く評価されるとともに、後者は第19回佐川吉男音楽賞を受賞。作曲家としても数々の委嘱を受けると同時に、J.S.バッハBWV190喪失楽章の復元や(Carus)、モーツァルト『レクイエム』の補筆・校訂が(Schott Music)、高い評価を得ている。メディアへの露出も多く、NHK-FM「古楽の楽しみ」レギュラー、テレビ朝日「題名のない音楽会」にもゲストとして出演している。録音はBCJとのJ.S.バッハのチェンバロ協奏曲集（BIS）、タメスティとのデュオ（Harmonia Mundi）など多数。

調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー、舞台演出、企画プロデュース、作曲とその活動に垣根はなく各方面から大きな期待が寄せられている。九州大学客員教授。

Twitter / @eugenesusuzuki

Facebook & Instagram / masatosuzukimusic

指揮者

鈴木 優人

# 洗足学園音楽大学

## ブルー・タイ ウインド・アンサンブル



洗足学園音楽大学では「演奏の洗足」と掲げ、年間約 200 回の演奏会を開催。中でも「吹奏楽研究」においてはたいへん力を入れており、4 つの吹奏楽団体が企画運営責任教授、指導教員の指導の下、日々研鑽を積んでいる。

1 年生だけのフレッシュマン・ウインド・アンサンブルと、其々着用するネクタイの色で呼ばれている上級生バンドのグリーン・タイ ウインド・アンサンブル、ブルー・タイ ウインド・アンサンブル、そして洗足学園音楽大学を代表するフラッグシップバンド、洗足ウインド・シンフォニーの計 4 つである。

記憶に新しいところでは、2012 年第 66 回ミッドウエスト・バンドクリニックにおいて、ブルー・タイ ウインド・アンサンブルがジェリー・ジャンキン、池上政人各氏指揮の下、大成功を収めた。

ブルー・タイ ウインド・アンサンブルは管打楽器コースの 2~4 年生で構成され、渡邊功講師が中心になり企画運営している。吹奏楽のオリジナル曲、オーケストラの編曲作品、最新の音楽を区別する事なく積極的に取り入れ意欲的な活動を展開している。



# Members

Concertmistress	上條 里彩			
Flute	金巻 未悠	酒井 瑠菜	田嶋 智翠	筒井 さくら
	清 友菜	鈴木 彩良	松崎 まり	宮内 菜歩
	鎌仲 思実	TRANNGUYEN BAOTRAN		末永 愛翔
	村松 なごみ			
Oboe	橋本 あみか	田中 詩穂吏*		
Clarinet	大木 舞	上條 里彩	中田 紫乃	長島 太一
	北池 莉々夏	佐々木 音美	関田 稜祐	石山 穂乃花
	大竹 彩音	末光 はるか♪	興野 ねね*	松本 玲香*
	山形 珠慧*			
Bassoon	鹿山 唯	長谷川 舞花		
Saxophone	岡本 彩花	加藤 舜理	酒井 優希	中條 花音
	長谷川 愛美	山中 杏実	加藤 恵莉菜	高橋 沙綾
	竹内 勇人	加藤 裕貴	QIU QI	高矢 真優
Horn	西川 宗辰	半崎 愛理	金井 亮介	中野渡 真咲
	PAN JUNLIANG		神野 了丞*	中津 里菜*
Trumpet	宇津木 清来	江原 春香	加藤 早弥乃	錦古里 愛
	濱田 ほむら	藤田 雄大	鹿野 円香	井上 瞳
	武田 倅奈	福山 桃花	森本 優生	谷中 彩乃
Trombone	林 剛潤	平野 結梨香	裏木 りりあ	佐藤 頼星
	近藤 慶一			
Euphonium	加藤 千聖	大島 成実	片桐 すみれ	
Tuba	豊田 真悠子	吉海 風龍	澤田 翔也	高島 佳樹
	金子 優也	峯永 岳志		
Contrabass	本橋 和樹*	安田 廉*		
Percussion	入江 美咲	大塚 愛美	岡澤 七海	金正 紗也加
	佐藤 綾香	杉本 裕香	丹 健汰郎	中嶋 遼
	星 陽華	前田 歩都	山野 智広	渡邊 拓斗
	浅井 惇	内田 光太郎	岡崎 颯太	田村 夢佑亜
	廣瀬 歌菜	宮下 真凜	三好 花梨	渡辺 歩紀
Piano	磯崎 晴菜*			
Harp	三谷 真珠子*			

♪…学生賛助 \*…演奏補助要員

企画運営責任者	渡邊 功			
トレーナー	飯吉 高			
指導教員	泉 真由	前田 綾子	田淵 哲也	宮村 和宏
	新井 清史	飯島 泉	郡 尚恵	中村 めぐみ
	鈴木 一成	皆神 陽太	中田 小弥香	大貫 比佐志
	貝沼 拓実	田中 拓也	田村 真寛	小林 祐治
	久永 重明	神代 修	林 辰則	本間 千也
	尹 千浩	菅 貴登	府川 雪野	小久保 まい
	福田 昌範	次田 心平	秋田 孝訓	小川 佳津子
	野本 洋介			
インスペクター	大塚 愛美	加藤 千聖	金巻 未悠	
助手	土屋 莉帆			
アカデミックコーディネーター	海野 匡代			